

## 2014国際教養科 NEWS 4月(2)

### 長野マラソン ボランティア活動(4/19&20)

暖かい日差しの中、今年も「長野オリンピック記念長野マラソン」が開催され、ゴール地点(南長野運動公園)のマラソントウンにおいて、国際教養科1年生全員が長野県観光部国際課や JICA のスタッフの皆さんとともに、ブース運営に参加しました。長野県国際化協会のサンタ・プロジェクトのお手伝いでは、外国籍児童就学支援募金活動に参加し、大勢の方々にご協力いただき、56,854 円の募金が集まったと報告がありました。

また、国際教養科2年生17人もビックハットで、外国人選手受付のボランティアに参加し、積極的に英語を使って、受付の仕事に励みました。



入学したばかりの国際教養科1年生たちは、今年もとても明るく、元気です。



西高のブースで長野に関する英語のクイズ出しました。学校に行けない子どもたちのために募金活動をしました。



ビックハットでは、国際教養科の2年生が外国人受付で活躍してくれました。



R.R さん

とても充実した1日でした。天気にも恵まれ、日差しが強い中で、国際教養科41人で協力して、募金活動や西高ブースで活動ができてとても楽しかったです。正直暑かったし、足もすごく痛かったけれど、声がかかるくらい大きな声で募金を呼びかけて、募金をしてくれるとすごく嬉しさを感じたし、もっと頑張ろう！とも思いました。長野県に関する英語クイズを来場者に出して交流する活動では、自ら進んで外国人の方に声をかけました。どの方もクイズに答えてくれるとものすごく嬉しかったし、自分から行動するその一歩が、自分の少しの成長に感じました。困っていたおばあさんも助けたりして、自分から積極的に行動することは素晴らしい、カッコいいんだ！ということを感じた一日でした。

T.A さん

2時間ぶっ続けで活動していたので足が痛かったり声が出なかったりと大変だなと思いました。でも、私はこのフェスティバルでこんなにもたくさんの人と話をすることができたり、今までにない大きな声で叫んだり、いつもは恥ずかしがり屋なので、初めてこのような経験をしてとっても楽しく思えました。他のブースに行って外国の方に英語クイズを出したりと積極的に行動した自分にびっくりしました。終わるときはもう少しやりたい！という気持ちでいっぱいでした。外国籍児童の就学を支援する募金活動も含めて、とってもいい経験になりました。これからもたくさんの経験をして、自分に自信をつけていきたいです。